




河道技術部会 資料  
(改修箇所における環境調査結果について)

平成29年(2017年)2月9日  
近畿地方整備局 福井河川国道事務所

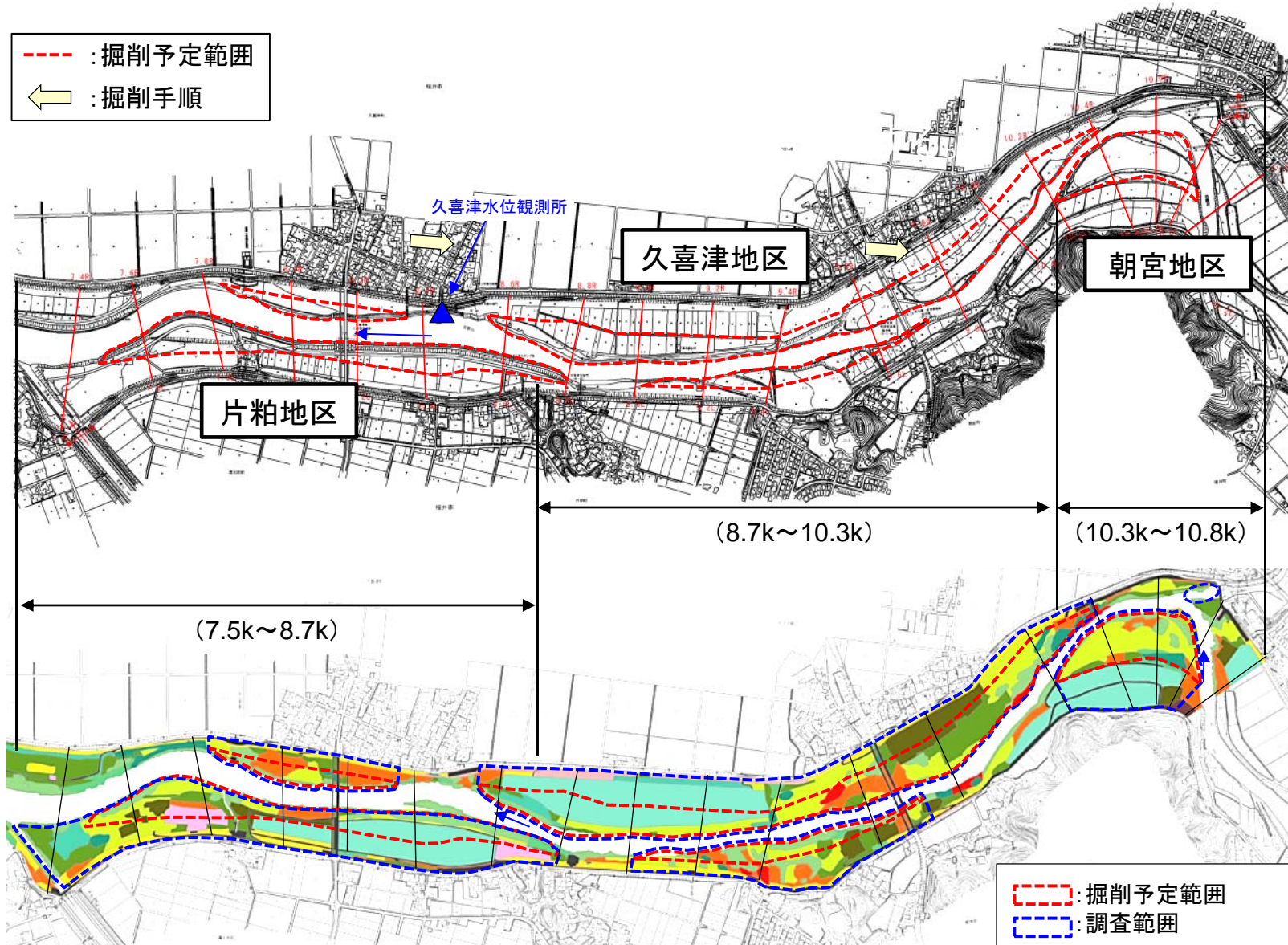
## 【調査概要】

調査項目	調査方法	調査時期※1	調査日時	調査風景
植物	・目視による観察	初夏季(6月) 秋季(10月)	初夏季:6月1日～2日 秋季:10月11日～12日 調査時間:9時～17時	
陸上昆虫類等	・任意採集法による採集 ・ライトトラップ法による採集 ・ピットフォールトラップ法による採集	初夏季(6月) 秋季(9月)	初夏季:6月1日～2日 秋季:10月11日～12日 調査時間:9時～17時	
鳥類	・ルートセンサス法による目視確認 ・定点観察法による目視確認 ・任意観察法による目視確認	初夏季(6月) 秋季(10月)	初夏季:6月22日～23日 秋季:10月11日 調査時間:4時～13時	
魚類	・投網・タモ網・セルビン等による捕獲	初夏季(6月) 秋季(10月)	初夏季:6月23日～24日 秋季:10月11日～12日 調査時間:9時～17時	
両生類・ 爬虫類・ 哺乳類	・目撃・捕獲及びフィールドサインによる確認	初夏季(5月) 夏季(8月) 冬季(12月)	初夏季:5月30日～31日 夏季:8月4日～5日 冬季:12月13日～14日 (哺乳類のみ) 調査時間:9時～17時	
底生動物	・定性・定量による採集	初夏季(5月) 夏季(8月) 秋季(11月)	初夏季:5月31日 夏季:8月18日 秋季:11月17日	

※1 調査時期は、第4回河道技術部会(2016.5)で決定

# 片粕・久喜津・朝宮地区の環境調査

## 【調査箇所】



## 【植物】

- ・初夏季調査及び秋季調査を通じて81科354種を確認
- ・重要種はノダイオウ・タコノアシ・カワヂシャ・ミクリの4種

表-1 確認種内訳(植物)

分類				科名	種名
シダ植物				8科	20種
種子植物	被子植物	双子葉植物	離弁花類	42科	150種
			合弁花類	18科	84種
		単子葉植物	13科	100種	
				81科	354種

表-2 重要種一覧(植物)

種名	確認箇所			選定基準			
	片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
ノダイオウ		○				VU	I 類
タコノアシ	○	○				NT	I 類
カワヂシャ	○	○				NT	II 類
ミクリ		○				NT	II 類

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 I A類 EN:絶滅危惧 I B類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

※2 絶滅:県域絶滅 I 類:県域絶滅危惧 I 類 II 類:県域絶滅危惧 II 類 準絶:県域準絶滅危惧

要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群

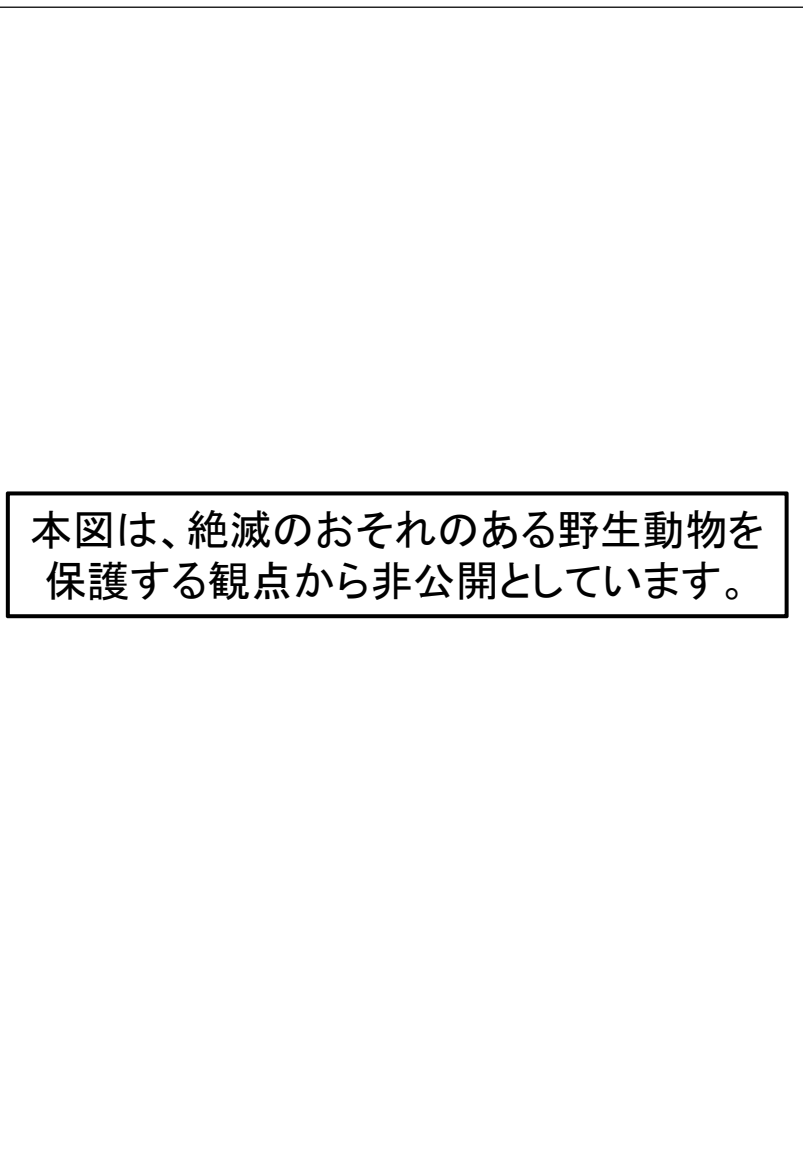
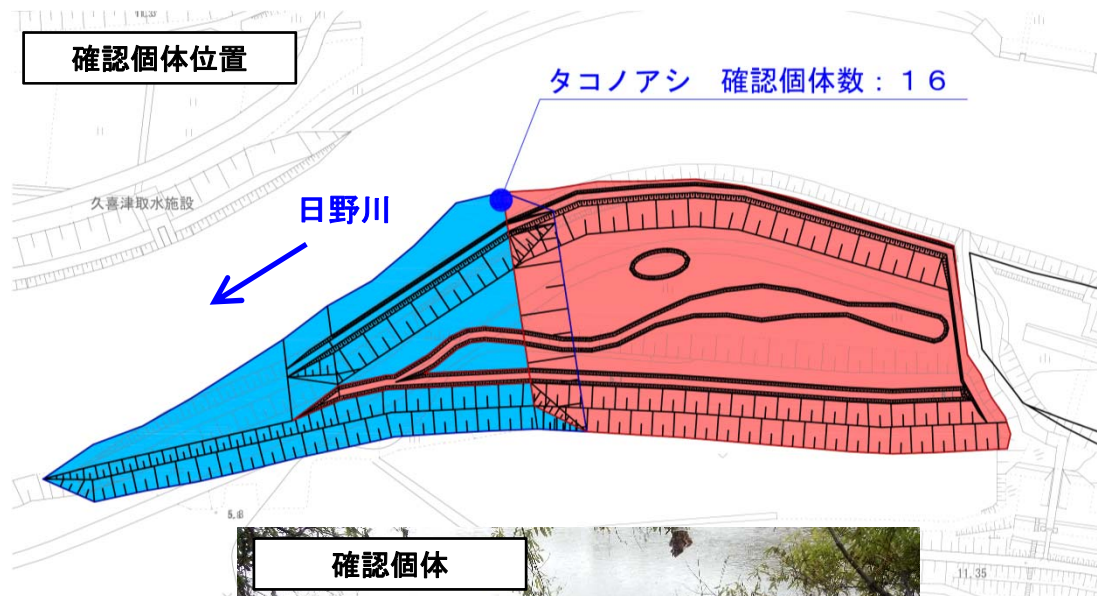


図-1 重要種確認位置(植物相)

# 貴重種(タコノアシ)の保全について

- ・初夏季(2016年6月1日~2日調査)植物相調査で片粕地区の改修範囲で「タコノアシ」を確認。
- ・河道技術部会委員に相談の結果、保全するようアドバイスを頂きました。
- ・工事着手前(2016年9月28日)に掘り上げを行い、福井県立大学にて保管中。
- ・改修工事完了後、植生等の回復時期を目処に、委員のアドバイスを踏まえながら移植を行う予定。



## 【陸上昆虫類等】

- ・初夏季調査及び秋季調査を通じて2綱14目165科544種を確認
- ・重要種はワスレナグモ・コガムシ・モンスズメバチ・クロマルハナバチの4種

表-3 確認種内訳(陸上昆虫類等)

綱名	目名	科名	種名
クモ	クモ	16科	46種
昆虫	カゲロウ	4科	4種
	トンボ	5科	9種
	カマキリ	1科	1種
	ハサミムシ	2科	2種
	バッタ	12科	28種
	カメムシ	27科	93種
	アミメカゲロウ	2科	4種
	シリアゲムシ	1科	1種
	トビケラ	2科	2種
	チョウ	18科	78種
	ハエ	22科	62種
	コウチュウ	33科	156種
	ハチ	20科	58種
2綱	14目	165科	544種

表-4 重要種一覧(陸上昆虫類等)

種名	確認箇所			選定基準			
	片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
ワスレナグモ	○					NT	
コガムシ		○				DD	準絶
モンスズメバチ	○					DD	
クロマルハナバチ	○					NT	要注

本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図-2 重要種確認位置(陸上昆虫類等)

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群  
 ※2 絶滅:県域絶滅 I類:県域絶滅危惧Ⅰ類 II類:県域絶滅危惧Ⅱ類 準絶:県域準絶滅危惧 要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群

## 【鳥類】

- ・初夏季調査及び秋季調査を通じて10目26科43種を確認
- ・重要種はコチドリ・ケリ・イソシギ・コシアカツバメの4種

表-5 確認種内訳(鳥類)

綱名	目名	科名	種名
鳥	ペリカン	1科	1種
	コウノトリ	1科	3種
	カモ	1科	3種
	タカ	1科	1種
	キジ	1科	1種
	チドリ	2科	3種
	ハト	1科	2種
	ブッポウソウ	1科	1種
	キツツキ	1科	2種
	スズメ	16科	26種
1綱	10目	26科	43種

表-6 重要種一覧(鳥類)

種名	確認箇所			選定基準			
	片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
コチドリ	○	○					要注
ケリ	○	○				DD	
イソシギ	○						要注
コシアカツバメ	○	○					準絶

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

※2 絶滅:県域絶滅 Ⅰ類:県域絶滅危惧Ⅰ類 Ⅱ類:県域絶滅危惧Ⅱ類 準絶:県域準絶滅危惧

要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群

本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図-3 重要種確認位置(鳥類)

## 【魚類】

- ・初夏季調査及び秋季調査を通じて5目10科25種を確認
- ・重要種はドジョウ、キタノメダカの2種

表-7 確認種内訳(魚類)

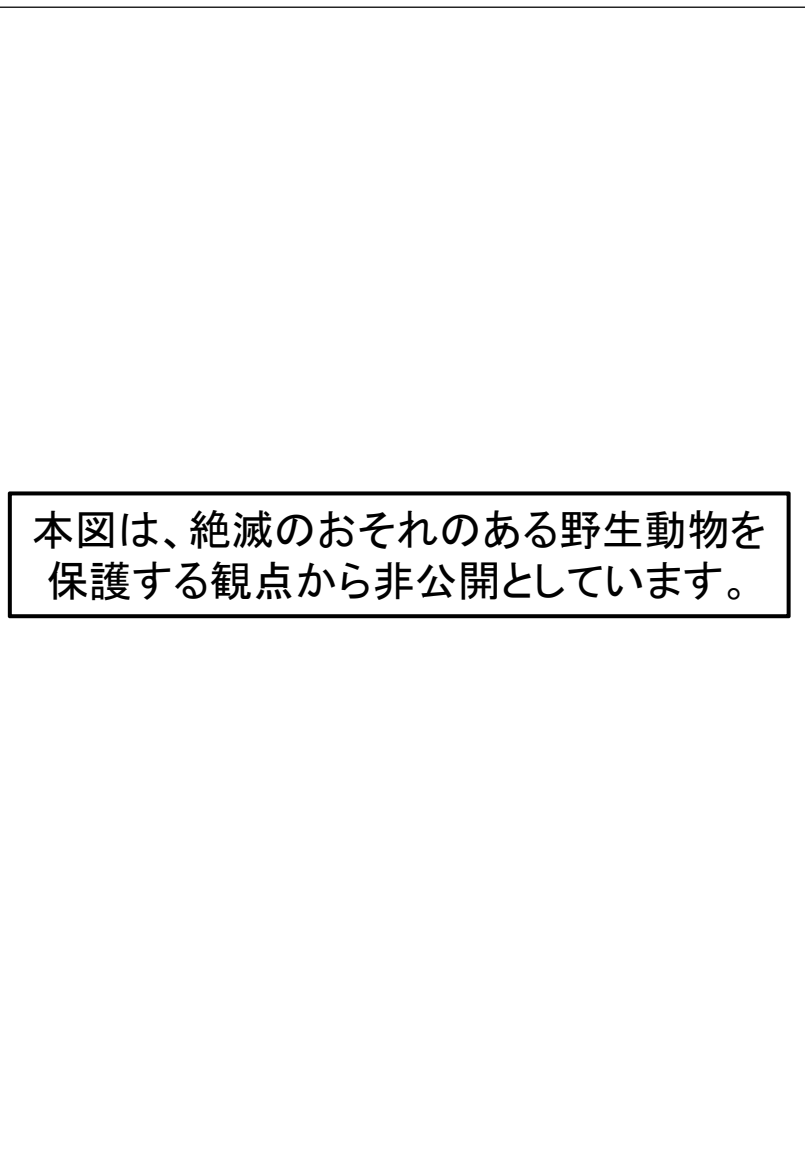
綱名	目名	科名	種名
硬骨魚	コイ	2科	11種
	ナマズ	1科	1種
	サケ	1科	1種
	ダツ	1科	1種
	スズキ	5科	11種
1綱	5目	10科	25種

表-8 重要種一覧(魚類)

No.	種名	確認箇所			選定基準			
		片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
12	ドジョウ	○		○			DD	要注
15	キタノメダカ	○		○			VU	Ⅱ類

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類  
 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

※2 絶滅:県域絶滅 Ⅰ類:県域絶滅危惧Ⅰ類 Ⅱ類:県域絶滅危惧Ⅱ類 準絶:県域準絶滅危惧  
 要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群



本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図-4 重要種確認位置(魚類)



## 【両生類・爬虫類・哺乳類】

- ・初夏季調査・秋季調査及び冬季調査を通じて3綱9目19科26種を確認
- ・重要種はトノサマガエル・ニホンスッポン・ヒバカリ・カヤネズミの4種

表-9 確認種内訳(両生類・爬虫類・哺乳類)

綱名	目名	科名	種名	
両生	無尾	3科	5種	
爬虫	カメ	3科	3種	
	有鱗	4科	6種	
哺乳	モグラ	1科	1種	
	コウモリ	1科	1種	
	ウサギ	1科	1種	
	ネズミ	1科	3種	
	ネコ	3科	4種	
	ウシ	2科	2種	
3綱		9目	19科	26種

表-10 重要種一覧(両生類・爬虫類・哺乳類)

種名	確認箇所			選定基準			
	片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
トノサマガエル	○	○	○			NT	要注
ニホンスッポン	○					DD	準絶
ヒバカリ		○					要注
カヤネズミ		○	○				準絶

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

※2 絶滅:県域絶滅 Ⅰ類:県域絶滅危惧Ⅰ類 Ⅱ類:県域絶滅危惧Ⅱ類 準絶:県域準絶滅危惧  
要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群

本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図-5 重要種確認位置(両生類・爬虫類・哺乳類)

## 【底生動物】

- ・初夏季調査・夏季調査及び冬季調査を通じて4門7綱18目50科104種を確認
- ・重要種はキイロサナエ・ヨコミゾドロムシの2種

表-11 確認種内訳(底生動物)

門名	綱名	目名	科名	種名
扁形動物	渦虫	三岐腸	1科	3種
軟体動物	腹足	基眼	3科	3種
	二枚貝	マルスタレガイ	1科	1種
環形動物	ミミズ	オヨギミミズ	1科	1種
		イトミミズ	1科	6種
		ツリミミズ	1科	1種
	ヒル	吻無蛭	2科	2種
節足動物	軟甲	ヨコエビ	1科	1種
		ワラジムシ	2科	2種
		エビ	4科	7種
	昆虫	カゲロウ	7科	21種
		トンボ	6科	9種
		カメムシ	2科	2種
		アミメカゲロウ	1科	1種
		カワゲラ	1科	1種
		トビケラ	7科	8種
		ハエ	5科	28種
		コウチュウ	4科	7種
4門	7綱	18目	50科	104種

表-12 重要種一覧(底生動物)

種名	確認箇所			選定基準			
	片粕	久喜津	朝宮	天然記念物	種の保存法	環境省 RL※1	福井県 RL※2
キイロサナエ	○	○				NT	準絶
ヨコミゾドロムシ	○	○	○			VU	

本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図-6 重要種確認位置(底生動物)

※1 EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群  
 ※2 絶滅:県域絶滅 I類:県域絶滅危惧Ⅰ類 II類:県域絶滅危惧Ⅱ類 準絶:県域準絶滅危惧 要注:要注目 地域:絶滅のおそれのある地域個体群

## 【掘削予定範囲内で確認された重要種】

- ・初夏季調査・秋季調査及び冬季調査を通じて25種の重要種を確認
- ・その内13種は掘削予定範囲内で確認

表－12 調査で確認された重要種

分類群	種名	生息・生育環境	
		大環境	微小環境
植物	ノダイオウ	低山地、原野・草原、河原	湿性地
	タコノアシ	河川下流域、水田周辺	湿性地
	カワヂシャ	河川、水田周辺	湿潤地
	ミクリ	湖沼、溜池、河原	緩水路、湿地等
昆虫類	ワスレナグモ	畑、草地	乾燥した地面
	コガムシ	畑、草地	乾燥した地面
	モンズズメバチ	畑、草地	乾燥した地面
	クロマルハナバチ	畑、草地	乾燥した地面
鳥類	コチドリ	裸地、河原	乾燥した礫地
	ケリ	河川、水田周辺	水辺環境
	イソシギ	河川、水田周辺	水辺環境
	コシアカツバメ	河川、水田周辺	水辺環境
魚類	ドジョウ	河川、水田、用水路	緩水路
	キタノメダカ	河川、水田、用水路	緩水路
両生類	トノサマガエル	水田周辺	水辺環境
爬虫類	ニホンスッポン	河川、水田、用水路	緩水路
	ヒバカリ	平地から低山地の樹林地	水辺環境
哺乳類	カヤネズミ	平地から低山地の樹林地	草地環境
底生動物	キヒロサナエ	平地から丘陵の河川中流	緩流域の砂泥環境
	ヨコミゾドロムシ	池や河川の中・下流域	流水域、水際植生

※網掛けの種は掘削予定範囲内で確認された種

本図は、絶滅のおそれのある野生動物を保護する観点から非公開としています。

図－7 掘削予定範囲内で確認された重要種